

WIN PARTNERS
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

PARTNERS Report

ウイン・パートナーズ 株式会社

第4期第2四半期 株主通信 Vol.8

2016年4月1日～2016年9月30日

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2016年度上期の株主通信をお届けいたします。

皆様のご支援により、当上期は増収増益を達成し、通期業績においても期初予想達成に向けて順調に進捗しております。また、当社株式の流動性の向上と、投資家層の拡充を図るため、2017年1月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定です。皆様には、これからも持続的な利益還元でご厚情にお応えしてまいります。

当社は、前期に監査等委員会設置会社に移行してから、経営体制の一層の強化を図ってまいりました。さらに本年6月の定時株主総会をもって、管理部門を統括する新しい取締役を迎え、グループ一丸となって、企業価値の向上に邁進してまいります。株主の皆様には今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 秋沢英海

連結財務ハイライト

(2017年3月期 第2四半期連結累計期間)

	百万円	前年同期比
売上高	27,713	+7.1%
営業利益	1,436	+12.5%
経常利益	1,438	+12.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	982	+4.8%
1株当たり四半期純利益(円)	34.21	+4.8%

※2017年1月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定です。そのため、1株当たり四半期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

ウイン・パートナーズグループ



Q-1 当上期の事業環境と経営成績についてご解説ください。

2016年4月に実施された診療報酬改定によって、医療機器(医療材料)の保険償還価格(国が定める価格)が0.11%引き下げられました。これに伴って当社グループの主力商品であるステントやPTCAバルーンカテーテル、ペースメーカなどの販売価格も軒並み下落し、当社グループの連結売上高を5%程度押し下げ

る影響を受けました。この影響を跳ね返すため、既存顧客とのさらなる取引拡大や新規顧客の獲得などに努めた結果、当上期の連結業績は、売上高が前年同期比7.1%の増収、営業利益が同12.5%の増益、経常利益が同12.0%の増益、四半期純利益*が同4.8%の増益となり、期初予想を達成することができました。

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益

Q-2 保険償還価格が引き下げられる中で増収を達成できた要因を教えてください。

当上期の業績を牽引したのは、不整脈などの心臓律動管理関連(CRS)分野です。3次元画像診断システムや冷凍バルーンカテーテルなどの新製品が相次いで登場し、心房細動等の治療精度が向上したことから、症例数が大幅に増加しました。加えて、この分野における当社グループの提案や医療現場支援などが

評価された結果、新たな顧客病院の獲得にも成功しており、当分野の売上高は前年同期比で2桁の伸びとなりました。このほか、消費税増税の影響が一巡した大型医療機器関連の売上高が増加したことも、増収の要因となっております。

Q-3 当下期の事業戦略と業績予想についてお聞かせください。

好調なCRS分野は、下期も継続するとみています。今後の成長市場と見込んで数年前から注力してきた結果が本格的に現れ始めており、営業要員も増やして、この成長分野への取り組みを一層強化しようと考えています。

このほか、より効果的、効率的なオペレーションを

実現するための提案などによって既存顧客とのさらなる関係強化を図る一方、新規顧客の獲得に向けても、首都圏の有力病院の開拓に注力するとともに、首都圏以外での営業活動も強化していく方針です。また、物流システムの改革にも着手し、一段の効率化を実現したいと考えています。

通期の連結業績については、期初に予想した通り、売上高566億円(前期比4.5%増)、営業利益30億円(前期比1.2%増)、経常利益30億円(前期比0.7%

増)、当期純利益*20億50百万円(前期比2.9%減)を見込んでおります。

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

Q-4 顧客病院の競争力向上のサポートに力を入れているそうですが。

当社グループは付加価値として、顧客である医療機関のバリューアップ(価値向上)を目指した様々な提案や支援を提供することに力を入れています。患者さんが最適な医療を受けられるように、最先端の技術や製品を提案するだけにとどまらず、長期的な設備投資戦略やコスト削減策の立案、さらには新たな診療科の設置の提案など、支援内容は多岐に渡ります。

象徴的な事例をあげると、かつて、ある病院に対

して循環器内科の開設および心臓カテーテル治療の開始を提案しました。これが奏功して循環器内科の患者さんが増加したところで、今度は心臓外科の開設を提案しました。この間、当社グループは、診療圏の調査に始まり、設備投資や収支のシミュレーション、さらに優秀な医師の紹介など、病院経営の視点からサポートを行いました。現在この病院は、心臓治療においては地域の基幹病院に発展しています。

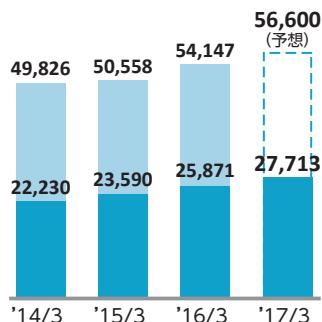
特にコンサルティング料をいただいているわけで

連結財務ハイライト

■ … 第2四半期(累計) ■ … 通期

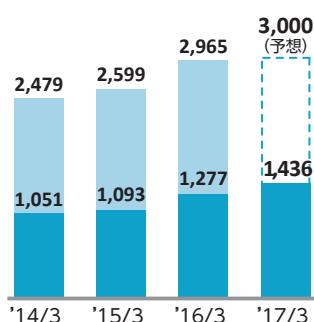
売上高

(単位: 百万円)



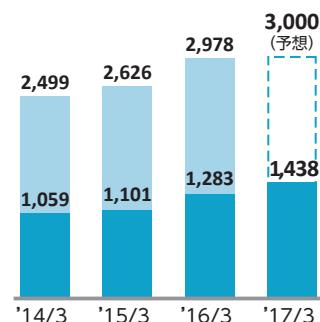
営業利益

(単位: 百万円)



経常利益

(単位: 百万円)



※2017年1月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定です。そのため、1株当たり当期純利益、1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

はありませんが、顧客病院が地域における競争力を高め、より多くの患者さんに対して最適な治療を提供できるように支援していくことが、中長期に渡って

当社グループの競争力と利益成長に繋がると考えています。

Q-5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

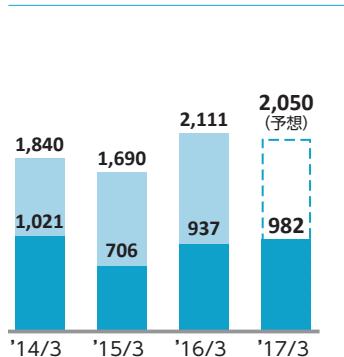
診療報酬改定によるマイナスの影響を跳ね返し、当社グループは堅調な成長を続けております。先ほどご説明したバリューアップ支援などの地道な取り組みを通じて、顧客病院や医療機器メーカーとの間で培ってきた信頼関係が、当社グループの何よりの強みです。短期的な利益を追い求めるのではなく、時間をかけてお客様との信頼関係を築いてきたことが、今の当社グループの安定的な成長を支えているのだと自負して

おります。従業員に対しても、目先の結果を出すことを急ぐよりも、地道に一生懸命に仕事に取り組むことを求めています。それが、命にかかわる商品を扱っている、当社グループの責任だと信じております。

株主の皆様にはなにとぞ、当社グループの事業活動にご理解を賜り、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

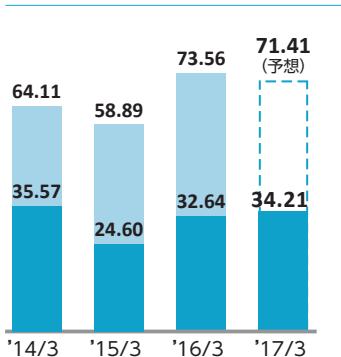
親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)

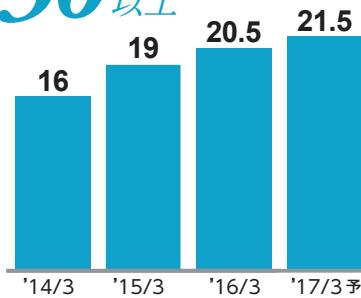


1株当たり配当金

(単位：円)

目標配当性向

30%以上





取締役
松本 啓二

Profile

取締役 松本 啓二

1959年10月生まれ。

1981年西本産業株式会社(現キャノンライフケアソリューション株式会社)入社。2009年株式会社エルクコーポレーション株式会社(現キャノンライフケアソリューション株式会社)代表取締役社長に就任ののち、2012年キャノンライフケアソリューション株式会社代表取締役社長就任。2015年11月に株式会社ウイン・インターナショナル入社、2016年6月よりウイン・パートナーズ株式会社の取締役執行役員総務部長に就任。

2016年6月の株主総会にて新たに選任された 松本啓二取締役をご紹介します。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、管理部門担当として取締役に就任いたしました松本でございます。

当社に入社してまだ1年に満たないのですが、一番驚いたのは社長の考え方が一般社員にまで齊しく浸透していることでした。企業理念や価値観を一般社員の行動にまで落とし込む難しさはこれまでの経験で十分理解しておりますので、一般社員が会話の中で普通に口にしていることに思わず振り返ってしまいました。

そのことを象徴的に現したエピソードをご紹介します。毎年4月にグループ全社員が集まってのキックオフ会議が開催され、その中で新卒社員が毎年違ったテーマでイベントを発表する機会があります。今年は、「クイズ100人に聞きました」という内容で、その中の会社で一番好きなところという質問に対して「社長の考え方」という答えが、組織力・医療に関わる社会貢献・上場企業という答えを差し置いて堂々の一位を獲得しました。

「儲かるか、儲からないかではなく、正しいか、正しくないかで判断する」

「正しいことを正しく行えば、売上は自ずと後からついてくる。この順番を間違えてはいけない」

私もこの言葉を行動の指針として、日々緊張感をもって株主の皆様のご期待に沿えるよう企業価値向上に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

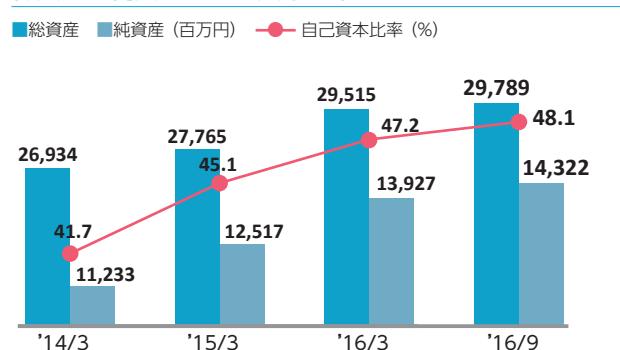
連結貸借対照表(要旨)

	前期末 2016年3月31日	当第2四半期末 2016年9月30日
資産の部		
流動資産	26,624	26,947
現金及び預金	9,285	10,516
受取手形及び売掛金	15,137	13,941
商品	1,475	1,543
その他	725	946
固定資産	2,891	2,841
有形固定資産	2,272	2,219
無形固定資産	210	182
投資その他の資産	407	439
資産合計	29,515	29,789
負債の部		
流動負債	14,903	14,745
支払手形及び買掛金	13,477	13,779
その他	1,425	965
固定負債	684	721
負債合計	15,587	15,466
純資産の部		
株主資本	13,949	14,343
資本金	550	550
資本剰余金	2,272	2,272
利益剰余金	11,665	12,059
自己株式	△537	△537
その他の包括利益累計額	△22	△20
純資産合計	13,927	14,322
負債純資産合計	29,515	29,789

連結キャッシュ・
フロー計算書(要旨)

	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	791	1,898
投資活動による キャッシュ・フロー	295	△79
財務活動による キャッシュ・フロー	△545	△588
現金及び 現金同等物の期首残高	7,238	9,285
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,779	10,516

総資産／純資産／自己資本比率



Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が1,437百万円、売上債権の減少が1,196百万円、仕入債務の増加が302百万円あった一方、法人税等の支払が738百万円あったこと等により1,898百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が68百万円あったこと等により79百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前期の配当金の支払が588百万円あったことにより588百万円の支出となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日
売上高	25,871	27,713
売上原価	22,420	24,091
売上総利益	3,450	3,622
販売費及び一般管理費	2,173	2,186
営業利益	1,277	1,436
営業外収益	7	2
経常利益	1,283	1,438
特別利益	263	—
特別損失	167	0
税金等調整前四半期純利益	1,379	1,437
法人税等	442	455
四半期純利益	937	982
親会社株主に帰属する 四半期純利益	937	982

連結包括利益計算書
(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日
四半期純利益	937	982
その他の包括利益	△117	1
四半期包括利益	819	983

Point

売上高・経常利益

保険償還価格改定により当社グループの主力商品の販売価格が下落したものの、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めるとともに、成長分野へ積極的な人員投資を行い、営業活動を一層強化した結果、特に心臓律動管理関連分野において販売数量が大幅に伸長し、増収増益となりました。

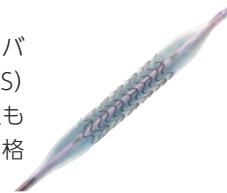
主要分類別売上概況

● 虚血性心疾患関連 (PCI)

薬剤溶出型ステント(DES)やPTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテルの販売数量が伸長したものの、保険償還価格改定に伴う販売価格下落の影響により減収となりました。

前年同期比

▲5.9%

薬剤溶出型ステント
(DES)

● 心臓律動管理関連 (CRS)

既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に注力するため、人員の増強を図り営業活動を強化した結果、不整脈の治療で使用されるEPアブレーション関連商品の販売数量が伸長しました。

前年同期比

+19.0%



ペースメーカ

8%

大型医療機器関連

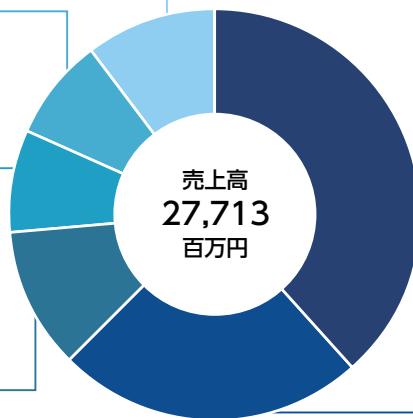
9%

末梢血管疾患関連 (PPI)
及び脳外科関連

11%

心臓血管外科関連 (CVS)

分類別売上高構成比

売上高
27,713
百万円

虚血性心疾患関連 (PCI)

24%

心臓律動管理関連 (CRS)

38%

その他

10%

● 心臓血管外科関連 (CVS)

経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) 関連商品の販売数量が伸長しましたが、ステントグラフト関連商品の販売数量が伸び悩んだこと等により減収となりました。



ステントグラフト

前年同期比

▲3.8%

● 大型医療機器関連

情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行ったことに加え、前年同期は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減があったこともあり大幅な増益となりました。



移动式X線撮影装置

前年同期比

+85.8%

● 末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術で使用使用するPTAバルーンカテーテルや脳外科関連商品の販売数量が伸長しました。



末梢血管用ステント

前年同期比

+5.4%

● その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図った結果、糖尿病関連商品であるインスリンポンプのレンタルの普及が進みました。

前年同期比

+15.0%

CSR活動のご紹介

心臓外科医のインド研修を支援しています。

インドでは、毎日800人も心の疾患を持った赤ちゃんが生まれています。人口や生活習慣病の増加を反映して、インドの医療供給市場は年率約15%で伸びており、医師や医療スタッフが非常に不足している状況です。そのうえ、日本のように医療保険制度が整備されていないため、医療費のほとんどが患者さんの自己負担となっています。

ナラヤナヘルス病院の創設者であり、マザーテレサの主治医でもあったドクターシェティ(写真左)は、「富とヘルスケアを切り離し、貧しい人々の命を救う」という高い志のもと、貧困層にも高品質の先進医療を低価格で提供できる効率的な病院経営の仕組みを築き上げ、高い基準をクリアした施設(JCI認定*)で、日本の約40分の1の費用で心臓手術を行っています。

当社は、ビジネスを通じて社会的、経済的な問題を解決するというドクターシェティの考えに賛同し、昨年、バンガロールの基幹病院を訪問しました。今年からは、日本の将来を担う若手の心臓外科医の同病院における研修を支援しています。

ひとりでも多くの患者さんの命を救うお手伝いをするとともに、圧倒的な手術経験を積める機会を日本の若手医師に提供することは、当社が提供する病院および医師のバリューアップ(価値向上)支援にもつながる活動と考えています。

今後も同病院と提携して、医師の交換研修など、日本とインドの医療発展のための橋渡しを行ってまいります。

※ JCI認定

米国の医療施設を対象とした世界最大の医療認証機関、Joint Commissionの国際部門であるJoint Commission Internationalが、「医療の質と患者の安全に関する継続的な改善」を目的に審査を行い、非常に厳しい基準をクリアした施設のみに認められる。



ドクターシェティと弊社代表取締役社長 秋沢



ナラヤナヘルス病院グループ

(ナラヤナフルダヤラヤ株式会社)

本社バンガロール。2016年5月1日現在、インド国内18か所で23病院(マルチスペシャリティ及びスーパースペシャリティ医療施設)と7ハートセンター(スーパースペシャリティユニット)、ケイマン諸島で1マルチスペシャリティ病院のネットワークを有する。心臓血管領域では圧倒的な地位を確立し、年間14,000例以上の心臓外科手術、54,000例の心臓カテーテル手術を行う。

会社概要

(2016年9月30日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等（連結ベース）
本店所在地	東京都台東区台東四丁目24番8号
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル テスコ株式会社
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	440名（連結）

役員

(2016年9月30日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	秋田 裕二
取締役	松本 啓二
社外取締役	間島 進吾
社外取締役	白田 佳子
取締役	中田 陽一*
社外取締役	神田 安積*
社外取締役	菊地 康夫*

(注) 2015年6月25日に監査等委員会設置会社に移行しました。(※は、監査等委員)

株式の状況

(2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,251,655株
株主数	2,328名

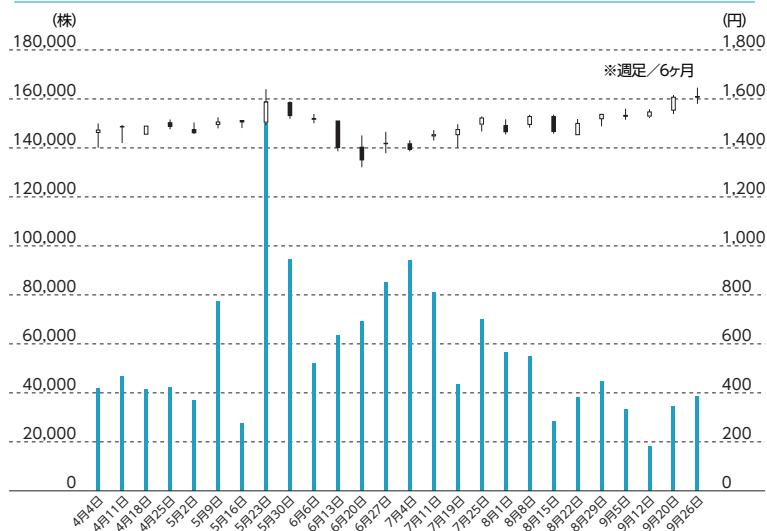
大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	2,750,000	19.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,364,500	9.5
株式会社キエマ企画	945,500	6.6
秋田裕二	856,545	6.0
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	5.6

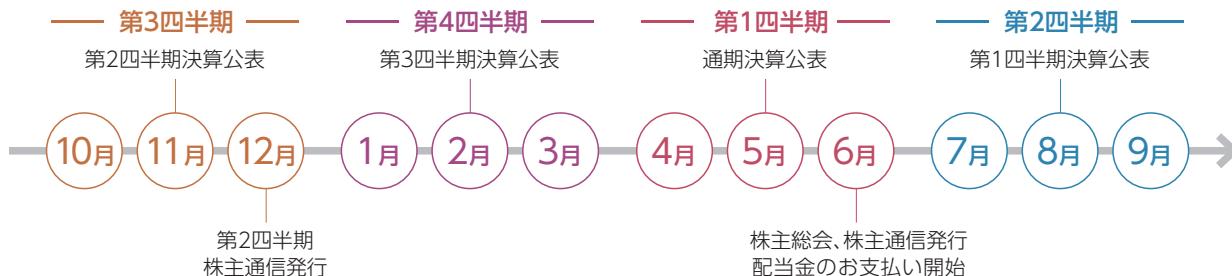
(注) 持株比率は自己株式897,474株を控除して計算しております。

株価及び出来高の推移

(期間：2016年4月～9月)



IRカレンダー



株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		
基準日	期末配当金 3月31日	連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
公告方法	電子公告 http://www.win-partners.co.jp/koukoku/ やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。		

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒110-8558 東京都台東区台東4-24-8
TEL: 03-6895-1234

www.win-partners.co.jp



WINはQOL推進企業です